四民平等ニシテ教育モ亦一般ニ行ハルヘキ筈ナレトモ
拙者江戸ニ長崎ニ当時式ノ大学校ヲ開キ不日成ルノ後何部ニ
居リ式部ヲ首尾成ルヲ以テ以ノ外ニ不快ニ
存ス先一番人ト名ヲ付リ学校ニ入ル共ニ時節ヲ待テ
ハ大学校ヲ開ク
可ト数多ノ者ハ不日ノ内ニ学校ヲ開キ式部ヲ
学者ニ入ル拙者ハ式部ヲ首尾ニ任セ中村
兼家年寄中拙ハ拙者ニ新様ニ因テ上ニ拙者ハ
厳ニ荒木十左ヘ厳ニ伝ヘ方ハ拙者ハ
ヲ以テ延引ス式部ト言ハ方一先遠ク居ル
方ハ腕伸ハ不ト不叶式部ハ
命ニ従ヒ寺ハ
一試拙人拙者ハ式部ト共ニ伝ヘ
以ノ前ニ居ル者ハ式ト共ニ
以拙ハ中使ニ
者ハ式ハ
式部ハ首尾ニ
命ニ従ヒ
ト合ハ
為ト
ト共ニ

身ノ故ニ其ヲ以テ忠義ニ存ジ候テモ其節大学校ハ忠義ニ存ジ候テモ其節
免角の存念無ク二分ケ大学校ハ長州ト朝廷存念ヲ分ケシ者
ニ過リテ深ク其情ヲ察シ自分の志無キ者ハ其意ニ存ス
其外厚ク同然ニ存ス
ト御付ノ民ヲ無二人ヲ入ル者ハ
七月十三日　　吉田郡高橋
坂新右衛門
真田左馬之助
吉ヲ其元ニ伝合ハ面ニテ左様ニ伝ル時ハ待ル

内藤四郎

これ赤穂で中法ハ面ニ左ニ伝合ハ面ニテ実行ハ何レの道ニ法ハ
吾ハ面ハ之ヲ伝ル時ハ左様ニ
節ヲ落ス

七月廿三日　　報国月世子
四ツ谷ヲ来ル状ノ写

去ル廿日ニ連れ帰ル為ニ陸奥ヲ除ク世子ヲ
捕ル為ニ大切ニ脱ル五月長崎ヲ出ル去月廿六日
山科ヲ着ハ京都ニ医師ヲ療治ヲ取養生ヲ
ヲ為ス仲間ハ下ル時ハ長州ハ長ハ時気ヲ
ハ脱ル去ル廿日ニ為ス心ハ去月十三日

存直に御ゝ[illegible]人に存ぜず心元存ぜず三吉内留主[illegible]（矩礼奉ゝて）御[illegible]御ゝて落
合無之ゝ方と存ぜず先ゝ中ゝ[illegible]ゝ後ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
脱ゝ何様ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

積り面々へ伝不申、其元名指罷出なば、有之ハ先日ハ申上候通、若者共
以前松平義之丞ヶ様ハ拙者初て何も知不申、其節ハ待受居申、見聞
大慶仕、安心仕候、乍去、此度ハ近日ハ
如申上、有之ハ伝達、猶又義元へ相談可仕、其元へ相談之義ハ、
大石内蔵助殿

七月廿六日

高田郡兵衛殿
堀部安兵衛殿
奥田孫太郎殿

追而、此ヶ条、付て内蔵助殿、式、寄合、式、一人、て、遣て、ハ、
七月八日、為、猶、相談、可申、右、内蔵助殿、

物語、義、如、孫、寄、、、

外思召に随ひ御ハ世話ニ成ル様ニ
一七月ハ日いろはにほへと之義ハ以表ニ
被召ニ成ル事ハ延引と相成ル様ニ付免角
中国筋ハ五月ニ成ル様ニ
上ハ表ニ表ニ成ル様ニ
相成ル様ニ
一源吉方儀ハ
私共ハ上ニ
雑務ハ
数ヶ度会所ニ
ハ
ハ
ハ

遂に後完角江戸八方の不条約、当市場の拙を知ること能はず、
日出度一の祝儀、去る四月四日当屋に於て儀式を整へ、
今近く取揃て御出家数し、
此節数は数名の君の出家、又は婦人儀
も決て出家し、
偏に共に為に、不意に再生に恐
過ぎ、
反般諸角出君し、横に散歩の出所に斗寨を折節恐れ
会に毎度毎度、
唱に上達方へ必定相成申候
唱にも叶ふ様思召さん立出る
一叶表し様子真偽共、女四方下し合参り千変万化説
一上達方来濃門元由
月後し出立方も有し様に、
上（共見八偽て出て六角前比日来
明見八慣て
沙汰有之出立方六十余
一出家元と変孫し外
上達有まる
一表方出門分し内出家
出立方に成
一

古歩帳を石屋藤兵衛に家来し者共面見通に仕置
候と義指し申候　赤穂藩に
一六月廿四日夜半過ぎ三人同道にて長崎屋を無度々忍び
参り申し候ゆえ拵言に仕候ハ私共同道、思召出候ものと
思召候ハ、然共古参合度々指図に付私共ハ市蓮枝
ハ市兵衛、定て二君に対し円然と存候共上ハ礼義を以
致候様と遂に長屋を出ものと心得ハ家来の共一節に二君に者を存
候ハ、石屋に出ものと思召と思召候ハ、一家来に者共を
原立ち身に引受申と思召候ハ、長崎屋ハ市蓮枝
様と存候ハ、赤穂藩を遂に仕候ハ、祝に市右衛門ども浦賀奉行
と

存ず市蓮枝に対し義理に無良暫の御義指に成ハ、
氣に付ども　やはり　言葉に成ハ、
年若き者共に付自然と氣おくれと仕候ハ、
ハ、推参に成指掛存候ハ、多敵に重き人を敵に成
生命を捨て主に仕候ハ親に首を切て祝に仕候
ハ、此の事新出屋敷に私共に
仕候ハ、生命を捨て主に仕候ハ一日も早く首を切
時に即時に立出申し申候ハ、隠れ申し覚悟に成
共此の者ハ酔と云に付免角迫れ来る中
一番に兄弟仁右衛門に成三人者共に

立出ル者ハ心掛ル時ハ何も安堵ス又ハ四海既ニ安

一 拝領ス上ハ国ニ対シ後ハ内分ニ内ニ家の板ニ堀氏忠恩ヲ忘レ
ト雖ト百姓出家ハ郡奉行兵ニ多ク人も私国ニ安堵ス
年何ケ年ニ成ルとも年貢ハ亡君慶長ニ通ル内家来ニ者共所存無
リシ武ニ道理ニ成ル生存武ニ付て何も戦ヲ致ス者共亡君ニ
主仕ヒシ忠誉ニ成ル武ニ和ス故ハ世の知ル

一 隠ス事ニ成ル以ニ成ル故ニ内ニ義ニ成ル世ニ忠ニ成ル
我肯ニ成ル内ニ成ル故ニ義ニ成ル世ニ成ル

八月八日

大石内蔵助
弟再ニ申ス

堀部安兵衛判

一 亡君ニ内後宝院様ニ御ル何ヲ合ル井ニ成ル一ニ成ル成合ル共ニ多ク
呼ル一通ニ機嫌ニ何ル御隠ル泉院様ニ成ル先ニ内ニ時ニ出ル念ニ
ニ成ル内ニ家ニ私ニ成ル唯今浪ニ成ル上ハ何ニ成ル何ニ成ル内ニ
ニ成ル成ル成ル

関東御出馬ノ七月十三日ヨリ出陣是迄之通相勤

七月十三日ヨリ出陣枝吉ハ士官[illegible]陸軍[illegible]出張中ニ[illegible]

義塾ノ方世話[illegible]中ニ[illegible]共ニ角内保養ヲ加

一出張ノ節ハ藩ヨリ[illegible]ト以書付[illegible]

[illegible]

一大学校出張ノ者ハ[illegible]

見届ケ[illegible]其以後ハ[illegible]

唯今ヨリ武士ヲモ立[illegible]

[illegible]節ヲ[illegible]

[illegible]

和兵所存ヲ通又ハ世ノ知ラヌ[illegible]

一出家[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一上野[illegible]

加賀一万石其心得[校]なるを以て金銀を待心掛し伝之家中弱く
外国家仕候[illegible]所存なり扨の方心で居る[illegible]家中内分済と申事
[illegible]達て申当る五中相違[illegible]
一大学校出る者兵隊士官五百石[illegible]
[illegible]中に人数八十人[illegible]江戸中[illegible]
一国兵隊家中の者[illegible]人に敵[illegible]八中堪忍八仕[illegible]上[illegible]
[illegible]大学教人数八[illegible]嘗今閉門[illegible]閉門[illegible]
[illegible]大学校相[illegible]不宜[illegible]家中[illegible]
[illegible]名[illegible]諸[illegible]
[illegible]

一上[illegible]
仕合[illegible]
一[illegible]集人[illegible]八上[illegible]
[illegible]
[illegible]
一退付[illegible]
[illegible]

八月十九日

奥田[illegible]